

強い農業づくり総合支援事業の取組事例

(平成28年度:事業実施主体:青森県農村工業農業協同組合連合会) (青森県)

取組の概要

- 対象品目 : 果樹(りんご) (受益面積20,500ha)
成果目標1 : ブランド品の割合を10.2ポイント増加
基準(H26年度)3,496kℓ/8,224kℓ(42.5%)
目標(R元年度)5,048kℓ/9,579kℓ(52.7%)
- 成果目標2 : 契約取引の割合を15.8ポイント増加
基準(H26年度)3,879kℓ/8,224kℓ(47.2%)
目標(R元年度)6,034kℓ/9,579kℓ(63.0%)
- 導入施設等 : 農産物処理加工施設建屋1棟
洗浄施設一式
搾汁・充填設備一式ほか



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

近年のりんご果汁を取り巻く情勢は、果汁飲料の多様化等による消費の伸び悩みや他果実飲料との競合に加え、安価な外国産果汁との競争など一層厳しいものになっている。

【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

本会は、安い外国産のりんご果汁に価格で勝負するのではなく、徹底した衛生・品質管理と高品質で差別化を図ることとして、JA系統から入荷される青森県産りんごを空気に触れさせない特殊な製法「密閉搾汁システム」により、酸化防止剤を使用することなく搾りたての色やりんご本来の味や風味を閉じ込めることで日本農林規格(JAS)の「特色規格」として格付けされたこだわりの「密閉ストレートジュース」を生産する。本事業による搾汁能力の拡大を機に、ブランド力を活かして大手メーカー等へ新商品を企画・提案することなどにより出荷量を増加するとともに、出荷量に占める高品質果汁(ブランド品)及び契約取引の増加を図り、生産者の所得向上に資する。

推進体制

青森県

指導・助言

事業実施主体
・取組計画の作成
・取組実施等

地域における独自の取組

高齢化・担い手不足等によるりんご栽培園地減少に歯止めをかけるため、省力化に資するりんご栽培方法の確立・普及の推進のほか、りんご搾汁により発生する搾り粕の有効活用にも取り組んでいる。

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①高品質果汁の出荷量の増加
- ②取引先との契約取引の増加

【事業実施による間接効果】

需要・供給と経営の安定化

生産者の所得向上

ブランド品の割合
達成率 157.8%

契約取引の割合
達成率 119.6%

